

かがやき

学 校 だ よ り 第 5 号

令 和 3 年 8 月 2 6 日

草 津 市 立 山 田 小 学 校

や やさしく・・・人権を大切にす り いじめを許さない

ま まけない・・・よく考 え ねばり強くやりぬく

だ ダイナミック・・・たくましく力強く 活き活きとしている

失敗をおそれない！

1学期、授業中の教室を巡回していると、こんな言葉を聞くことが何度かありました。それは、自分の意見を言う前に「まちがっているかもしれませんが。」と子どもたちが前置きすることでした。授業中はまちがってもいい、いや、どんどん失敗してほしいと思っている私には気になる言葉でした。

私は休日に少年スポーツのコーチをしています。そこでいつも言っていることがあります。

『試合は勝つか負けるかではなく、勝つか学ぶかである。』

『プレーは成功するか失敗するかではなく、成功するか学ぶかである。』

これは、27年間も刑務所に投獄されながらも差別と闘い続け、ノーベル平和賞を受賞した元南アフリカ大統領、ネルソン・マンデラさんの言葉をもとにしています。

『I never lose. Either I win or learn.』

～私は決して負けない。勝つか学ぶかである～

先日、山田小学校に来てくださったラグビー元日本代表、タウファ 統悦さんも同じことを言っておられました。

『失敗をおそれない。たくさん失敗してたくさん学ぶことが大事である。』

『失敗は学びである。失敗してそこで終わるのでなく、大切なのはそこから何を学ぶ

か、自分がいかに成長できるかである。』

まちがってもいい、失敗してもいい、そこから成長が始まるのです。そのためには、まずは我々大人が子どもたちの失敗に対して寛容（かんよう）であることが必要だと思うのです。

校長 南 喜普